

## バージョン 2021.7 の新機能

このトピックでは、以前のバージョンでは使用できなかった、ICMLive Configuration Manager 2021.7 に新しく導入された追加機能、改良点を全て説明します。

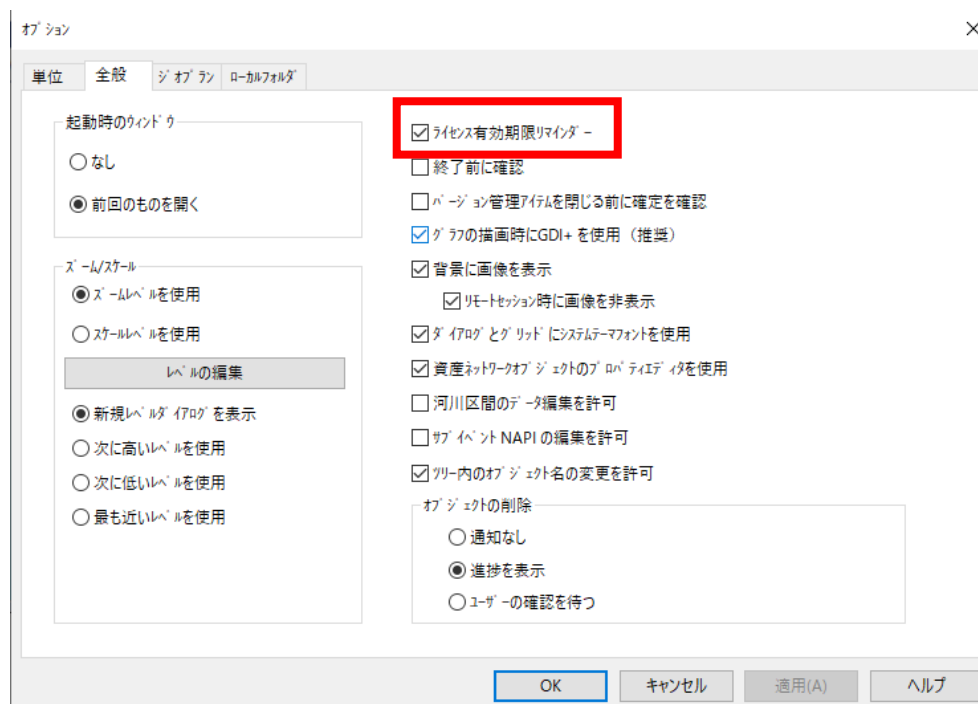
### NOAA 降雨ジェネレータの使用が可能に

新しい [NOAA ATLAS 14 Rainfall Generator](#) を使用して、NOAA の Precipitation Frequency Data Server (PFDS) からデータをダウンロードし、米国内の指定した地点の NOAA Atlas 14 precipitation frequency estimates を生成することが可能となりました。生成された降雨は、NOAA ATLAS 14またはNCRS Regionalシステムの時間分布をベースとすることが可能であり、[NOAA 計画降雨イベント](#) の平均再現間隔と継続期間も降雨ジェネレータを使用して指定することが可能です。

### Thales ライセンスの期限に関する警告メッセージの追加

Thales ライセンスをお使いの場合、ライセンス期限が1か月未満になると、デフォルトでは ICMLive Operator Client の起動時に [警告メッセージ](#) が表示されるようになりました。ライセンス期限が1週間になると、毎日メッセージが表示されるようになります。

警告メッセージを表示したくない場合は、警告ダイアログにて **Remind me later (後で通知する)** オプションのチェックを外すか、あるいは [オプションダイアログ](#) の [全般ページ](#) にある **ライセンス有効期限リマインダー** オプションを使用し、メッセージの表示を無効にします。



### InfoWorks についてボックスの拡張

[InfoWorks についてボックス](#) が更新され、お使いの ICMLive Operator Client インストールに関してライセンス使用許諾書、インストールしているソフトウェアのバージョン番号、お使

いのドングルやサーバーから読み込まれたライセンス名が表示されるようになりました。

また、以前 InfoWorks についてボックスに表示されていたライセンス番号やお使いの OS のバージョン、マスターデータベースの名前や場所については、追加情報ウィンドウに表示されるようになりました。この追加情報ウィンドウは、InfoWorks についてボックス内にある **Additional Information** ボタンをクリックすると、表示されます。

## **XPSWMM / XPStormから InfoWorks ネットワークへSCS地表面流出データインポートが可能に**

XPSWMM / XPStorm にて SCS Hydrology routing method を使用している下位集水域を InfoWorks のネットワークへインポートできるようになりました。XPSWMM / XPStorm xpxファイルから他の下位集水域データをインポートする場合と同様、ICMの下位集水域、地表面流出面、土地利用オブジェクトとしてインポートされます。

XPSWMM / XPSTORM xpx ファイルからのインポート方法については[Importing XPSWMM/XPStorm Data to InfoWorks Networks](#) をご覧ください。また、変換に関する詳細については、[XPSWMM/XPStorm Conversion Notes \(InfoWorks\)](#) をご覧ください。